

東濃信用金庫

多治見市・金融機関

従業員数／男性456名 女性494名 計950名 ※令和4年11月現在

エクセレント POINT

- ①カンガルーポケットの会による育児休業者復帰支援
- ②時間単位の有給休暇制度による取得の推進
- ③有給扱いの年5日間の介護休暇制度を導入



育休取得者はオペレーションの新しい機能追加の説明を受けることができ、円滑な職場復帰につながっている。

児の悩みを共有したり、円滑な職場復帰に向けたオペレーション研修などを実施している。さらに会では、復帰後の心得も啓発。人事部人材開発課の横山幸子さんは「特別な配慮があつて当然ではなく、周囲に感謝の心を持つことが大切」と話し、仕事への責任感を促す。これまで延べ約690人が参加し、参加者からは「復帰に対して前向きな気持ちになれた」「育休中も会社とのつながりを実感できる」とプランクに対する不安軽減にもつながっている。

14年には「地域の皆様に愛される信用金庫にしたい」との想いから、女性職員による「チームなでしこ」を設立。現在16人のメンバーが中止となり、地域の子育て支援イベントに参加している。

19年には店舗間の絆を深めES向上を目的とした「なでしこスポーツ大会」を開催。多くの職員が参加し、気持ちの良い汗を流した。また職員の業務面での課題解決を目的とした「おたすけCafe」を開催し、仕事への不安や悩み解消に一役買っている。



育休復帰に向けて開催される「カンガルーポケットの会」。

育児中も安心感と自立促す

東濃信用金庫では、妊娠中や育休中の職員を対象に「カンガルーポケットの会」を2010年に設立した。会は子ども同伴で年6回偶数月に開催しており、庫内情報や育

児の悩みを共有したり、円滑な職場復帰に向けたオペレーション研修などを実施している。さらに会では、復帰後の心得も啓発。人事部人材開発課の横山幸子さんは「特別な配慮があつて当然ではなく、周囲に感謝の心を持つことが大切」と話し、仕事への責任感を促す。これまでも延べ約690人が参加し、参加者からは「復帰に対して前向きな気持ちになれた」「育休中も会社とのつながりを実感できる」とプランクに対する不安軽減にもつながっている。

14年には「地域の皆様に愛される信用金庫にしたい」との想いから、女性職員による「チームなでしこ」を設立。現在16人のメンバーが参加し、地域の子育て支援イベントに一役買っている。